

1. ホームドア

①ホームドア整備に対する現状、課題、全体計画等

○現状：
ホームドア整備の状況は、都内全19駅45番線（泉岳寺駅除く）中、2024年3月末時点で5駅14番線に設置済み。

○課題：
ホームドア整備にあたり、事前のホーム補強やホームドア設置による狭隘箇所の解消等、調査や対応に時間が掛かるとともに多額のコストが必要となる。
また、ホームドア本体も多額なコストがかかり、維持・メンテナンス等の費用も発生することから、設置する駅について、安全に対する優先度を考え精査する必要がある。
当社は、国・地方公共団体・事業者と三位一体で整備を進めるものと考えており、関係者の協力のもと設置を進めていく。

○目標・取組の考え方：
お客さまのご利用状況や昨今の事故発生状況などを総合的に踏まえた優先順位をもとに、整備を加速化。
2030年代初頭までに全駅でのホームドア・ホーム固定柵の設置を目指す。

②各駅の計画

<利用者10万人未満駅>

駅名	路線名	事業期間	優先整備の視点		整備状況 (2024年3月末時点)
			駅周辺の特性	駅の特性	
北品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅 ホームが狭隘	未整備
新馬場駅	本線	未定	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅 島式ホーム	未整備
青物横丁駅	本線	2023～2024年度	福祉・医療、教育施設が集積	快特の通過駅	整備中 (2024年度ホームドア制作設置予定)
鮫洲駅	本線	未定	福祉・医療、教育施設が集積	島式ホーム	未整備
立会川駅	本線	未定	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急の通過駅	未整備
大森海岸駅	本線	2025～2026年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅	未整備
平和島駅	本線	2020～2021年度	福祉・医療、教育施設が集積	優等列車との乗換駅 島式ホーム・ホームが狭隘	整備済
大森町駅	本線	2024～2025年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅	未整備
梅屋敷駅	本線	2023年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅	整備済
京急蒲田駅	本線	2017～2019年度	福祉・医療、教育施設が集積	空港線との乗換駅 島式ホーム	整備済 (2・5番線は固定柵整備)
雑色駅	本線	2025～2026年度	福祉・医療、教育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅	未整備
六郷土手駅	本線	2025～2026年度	保育施設が集積	快特・特急・急行の通過駅	未整備
枇杷谷駅	空港線	2025～2026年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特の通過駅	未整備
大鳥居駅	空港線	2025～2026年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特の通過駅	未整備
穴守稻荷駅	空港線	2025～2026年度	福祉・医療、保育施設が集積	快特の通過駅 ホームが狭隘	未整備 (固定柵設置済)
天空橋駅	空港線	2025～2026年度	福祉・医療、保育施設が立地	快特の通過駅	未整備
羽田空港第3ターミナル駅	空港線	2006～2010年度			整備済
羽田空港第1・第2ターミナル駅	空港線	2017～2019年度		島式ホーム	整備済

<利用者10万人以上駅>

駅名	路線名	事業期間	整備状況 (2023年3月末時点)
品川駅	本線	2029年度頃 (連立事業と合わせて実施)	未整備 (固定柵設置済)

2. エレベーター

①複数・乗換ルート整備に対する現状、課題、全体計画等

○現状：
エレベーターの設置の状況は、都内全19駅(泉岳寺駅除く)中、全19駅(100%)に設置済み。複数・乗換ルート整備は、天空橋駅、羽田空港第1・第2ターミナル駅を整備済み。

○課題：
複数・乗換ルート整備にあたり、エレベーターを設置するスペースがないこと、鉄道施設の移設や用地取得等に多額のコストが必要になることが課題である。

○目標・取組の考え方：
複数・乗換ルート整備について、バリアフリー法を基に当社にて検討を進める。

②各駅の計画

<2ルート目以降(複数・乗換ルート)>

駅名	路線名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	優先整備の視点		備考
				駅周辺の特性	駅の特性	
天空橋駅	空港線	2020年度	下り線ホーム～東京モノレール連絡改札口	複合施設が立地		整備済
品川駅	本線	2029年度頃 (通立事業と合わせて実施)	検討中	複合施設が立地	大規模駅 JR線との乗換駅	未整備

<1ルート>

駅名	駅名	事業期間	バリアフリールートの整備予定	備考